

Oxford Reading Tree Level 4 More Stories C

- ① Dad's Jacket
- ② Stuck in the Mud
- ③ The Den
- ④ Look Smart
- ⑤ Tug of War
- ⑥ An Important Case

Activities

【Glossary (語彙集)】

本文に出てくることば

Level 4 More Stories C に出てくることば

Dad's Jacket 「パパのジャケット」

—ジャケットのゆくえは—

週末に、家を開放してセールを行う光景はめずらしくありません。しかし今回は特別です。Children in Need のために開かれているのです。

Children in Need

● 1980 年から BBC は Children in Need というチャリティーを行っています。これは、困っている子どもたちを救うための献金活動です。親または子ども自身がアルコール中毒・麻薬中毒である場合、子どもたちがいじめ、売春、病気、HIV 感染、性的犯罪、体が不自由などにより困っているのを救うための活動です。Pudsey という片目に包帯をしたテディーベアがトレードマークです。
(BBC の ホーム ページ では 献 金 も 受 け 付 け て い ま す 。
<http://www.bbc.co.uk/pudsey/donate/>)

献金には、体が不自由な人に対してなどは、献金というよりも偏見を捨てるべきだという反対意見もあります。

この“Dad's Jacket”では子どもたち自身が“Children in Need”のために資金を得るためにがんばっています。

英語のいいかえを見抜く

英語の文章を読んでいると、日本語よりも言いかえが多い事に気づくでしょう。he, she, it, his, この本にもたくさん出てきます。文章を読むコツのひとつは、それらが何を言いかえたものなのか確認しながら読むようにすることです。

お話を読みながら、言いかえた部分が出てきたら、絵でそれが何かを指してみましょ。日本語に直す必要はありませんが、原文で何の代わりかがわかるように意識しましょ。慣れてくるとそんなことを考えなくとも、自然に指しているものを意識しながら話を読めるようになります。

以下は、Dad's Jacket に出てくるいいかえの言葉です。言いかえている言葉のもとの言葉は本に出ている原文のままです。そのまま書かれていないものについては日本語で書いてあります。

p.2 They (絵に描かれている子どもたち) p.3 It (a poster) p.6 She (Aneena)
p.7 he (Dad) p.10 his (パパの) p.11 it (パパのジャケット) p.12 he (Dad)
p.13 it (my jacket) p.14 He (Dad) p.16 he (The man)

Dad's Jacket	パパのジャケット
1 The children put some tables outside.	子どもたちはテーブルを外に出しています。
2 They wanted to help children in Need.	困っている子どもたちを助けたいのです。
3 Chip made a poster. It said, "Help Children in Need."	チップがポスターを作りました。 「困っている子どもたちを助けよう。」と書きました。
4 Biff and Nadim had some plants.	ビフとナディムは植物の係りです。
5 Kipper and Wilma had some clothes. Wilf had some books.	キッパーとウィルマは洋服。 ウィルマは本の係りです。
6 Anneena had a good idea. She invented a game.	アニーナによいアイデアが浮かびました。アニーナはゲームを考え出しました。
7 Dad looked at Anneena's game. "Let me have a go," he said.	パパはアニーナのゲームを見ています。「やってみよう。」と言いました。
8 A man put Dad's jacket on. "It's a good fit," he said.	おじさんがパパのジャケットを着ました。「ちょうどよい。」おじさんは言いました。

9	“It’s five pounds,” said Wilma. The man bought the jacket.	「5 ポンドです。」ウィルマが言いました。おじさんはジャケットを買いました。
10	Dad looked for his jacket.	パパがジャケットを探しています。
11	“Oh no!” said Wilma. “I’m sorry. A man bought it.”	「あらいやだ。」ウィルマが言いました。「ごめんなさい。おじさんが買ってしまったわ。」
12	Dad ran after the man. “Stop!” he called. “That’s my jacket.”	パパがおじさんを追いかけます。「待って！」パパが叫びました。「それは、私のジャケットです。」
13	“No, it’s my jacket,” said the man. “Give me ten pounds for it.”	「いいえ、私のジャケットですよ。」おじさんは言いました。「10 ポンド下さい。」
14	“Oh no,” said Dad. He gave the man ten pounds.	「あーあ。」パパはおじさんに 10 ポンド払いました。
15	The man gave the jacket to Dad.	おじさんはパパにジャケットを渡しました。
16	The man gave Wilma ten pounds. “It’s for Children in Need,” he said.	おじさんはウィルマに 10 ポンド渡しました。「それは困った子どもたちへだよ。」とおじさんは言いました。

Stuck in the Mud 「沼にはまって」

—あの鳴き声は?—

長靴をはいてのお散歩。泣き声の方に行くと羊が沼にはまっています。助けてあげられるでしょうか。このお話の最後の 16 ページは、ユーモアにあふれています。楽しむユーモアの感覚というのは、イギリスなど欧米では重要視されているようです。同じレベル 4 の Nobody Got Wet (More Stories A) や Everyone Got Wet (More Stories B) も同じような終わり方をしています。

動物の鳴き声

動物の鳴き声はどここの国でも同じはずなのに、不思議なことに鳴き声を書き言葉で表すと国によって異なります。日本では「メーメー」と鳴く羊もイギリスでは“Baa, Baa”と鳴くのですね。牛は moo, moo 馬は neigh, neigh ブタは oink, oink などどれもちがいます。

夜寝付けないうちに、ひつじが一匹、二匹と数えていきます。これは、英語の sheep と sleep をかけたものだとも言われています。また、キリスト教では信者が羊にたとえられます。羊が従順な性格であり、純粋潔白なイメージとされています。

状況を把握しよう

お話を読んでいく時には、時間、場所、登場人物、何をどうしたのか、どのようになのかを把握していきます。物語はたいてい、だれがどうしたお話というようにまとめられる場合が多いです。

表紙をみるとみんなが羊を眺めています。どんな格好をしているのでしょうか。長袖で、思いなしか空気も冷たいような様子が伝わってきます。p.2 と p.3 の木々は葉

がついているものもありますが、落ちているものも見られます。季節はいつでしょう。

p.1 には、長靴姿の 4 人とフロッピーがいます。ビフ、チップ、ウィルマとパパです。うさぎもいます。散歩に出かけた先は、沼のほとりです。そこで最初に何かの鳴き声が聞こえたときに、チップが p.3 で“What was that?”と聞いています。近づいてきた p.4 では“What is that?”と聞いています。そこからが大変。沼にはまってしまった羊救出のために、一生懸命ひっぱったり押ししたりします。

さて、教室で読んでいる場合には、絵本を読む楽しさをそこなわない程度に、お話の展開を生徒に質問してみるのもひとつの方法です。ある程度英語力がある生徒に関しては、個々に異なる Level 4 の本を読んで、お互いにお話を教えあうという活動も効果があります。

	Stuck in the Mud	沼にはまって
1	The children went for a walk. It was a muddy walk.	子どもたちは散歩に出かけます。 どろどろの散歩です。
2	“What a muddy path!”said Biff.	「どろんこ道だわ。」ビフが言いました。
3	“Baa! Baa!” “What was that?” asked Chip.	「めー！めー！」「何の声だった？」 チップが聞きました。
4	“Baa! Baa!” “What is that?” asked Wilma.	「めー！めー！」「何の声だろう？」 ウィルマが聞きました。
5	“It’s a sheep,” said Dad. “Put Floppy on a lead.”	「羊だね。」パパが言いました。 「フロッピーをつなごう。」
6	“Oh no!” said Chip. “A sheep is stuck in the mud.”	「あれえ！」チップが言いました。 「羊が沼にはまっている。」
7	The sheep couldn’t get out. The mud was too deep.	羊は抜け出せませんでした。 沼が深すぎました。
8	“Help me get it out,” said Dad.	「出してあげるのを手伝って。」パパ が言いました。
9	Dad went to help the sheep.	パパは羊を助けに行きました。

	He sank into the mud.	沼に沈んでしまいました。
10	Wilma and Chip went to help.	ウィルマとチップが助けに行きました。
11	They sank into the mud.	ウィルマとチップは泥沼にはまってしまいました。
12	Dad pushed. Wilma and Chip pulled.	パパが押しました。ウィルマとチップが引っ張りました。
13	They got the sheep out. “Baa! Baa!” went the sheep.	みんなで羊を引き上げました。 「めー！めー！」羊が鳴きました。
14	Wilma and Chip were muddy. Dad had lost a boot.	ウィルマとチップはどろどろになりました。 パパの長靴が一足ぬげてしまいました。
15	Wilma went to get Dad’s boot.	ウィルマはパパの長靴を取りにいきました。
16	Help!” said Wilma. “Now I’m stuck!”	「助けて！」ウィルマが言いました。 「今度は私がはまっちゃった。」

The Den 「あそび小屋」

—手作りの小屋で—

せっかく小屋を作ったのに、長雨で早く外に出たい！読んでいるとそんな気持ちになってきます。The Den のように木の枝で小屋を作るなんて、子どもたちのあこがれです。それを優しく見守るパパは、きっと辛抱強くアウトドア派。

子どもを大勢で遊ばせるときには、楽しむだけでなく危ないであろうことを注意することも必要です。木々を集める場合には、とがった先を相手の顔に向けないようにさせましょう。小屋を作るにはテントはり同様、吹き飛ばないようにしっかりと地中に杭を埋め込まないとなりません。風でひっくりかえって、支えている木々が人にささると危険です。

つなぎ言葉

but「しかし」(p.8)という言葉は、子どもには抽象的でとらえにくい場合があるようです。but が出てきたら、その前後は対照的なものが出てきている可能性が高いわけです。The children sat in the den but it began to rain. 小屋にすわってこれからという時に、雨が降ってしまったというがっかりした気持ちが but に表れています。このように文章にはいろいろなつなぎ言葉が出てきます。つなぎ言葉の意味を覚え、使い方を知っておくと文章がグッと読みやすくなります。

発音練習

The Den には st-で始まることばが繰り返して出てきます。st と発音した時に、日本語のように母音が残らないように練習してみましょう。Stream, sticks, straw, stop などが出てきています。日本語の「す」よりも"s"は口を横に開いて前の方で音を出すとうまういきます。

発音を練習する時には、CD をかけながら同じように繰り返して言いながら練習してみましよう。

The Den

- 1 The children were by the stream. Wilf had an idea.
- 2 Wilf found some sticks.
- 3 "Let's make a den," he said. "Put the sticks like this."
- 4 They all found some sticks.
- 5 Chip found lots of branches and Wilma found some straw.
- 6 Biff found some logs.
- 7 "We can sit on them inside the den," she said.
- 8 The children sat in the den but it began to rain.
- 9 The rain splashed into the den. "I'm getting wet," said Kipper.
- 10 "We're all getting wet," said Dad. "It's time to go."
- 11 "Can we come back soon?" asked Biff.
- 12 It rained all week. The children couldn't go out to play.
- 13 They wanted the rain to stop. They wanted to go back to the den.

あそび小屋

- 1 子どもたちは小川のそばにいます。ウィルフが思いつきました。
- 2 ウィルフは棒を見つけました。
- 3 「小屋を作ろうよ。」ウィルフはいいました。「こんなふうに棒を立ててさ。」
- 4 みんなが棒を見つけってきました。
- 5 チップはたくさん枝を見つけて、ウィルマはわらを見つけてきました。
- 6 ビフは丸太を見つけてきました。
- 7 「小屋の中で丸太にすわれるね。」ビフが言いました。
- 8 子どもたちは小屋にすわりましたが、雨が降ってきてしまいました。
- 9 雨が小屋にポツポツ流れ込みました。「ぬれてしまう。」キッパーが言いました。
- 10 「みんなぬれちゃうね。」パパが言いました。「もう行かなきゃ。」
- 11 「すぐに戻れる？」ビフが聞きました。
- 12 一週間雨が降り続けました。子どもたちは外に遊びいけませんでした。
- 13 子どもたちは雨が止んでほしいと願いました。小屋に戻りたかったのです。

- | | | |
|----|--|-------------------------------|
| 14 | The rain stopped. The children went back to the den. | 雨が止みました。子どもたちは小屋に戻ってみました。 |
| 15 | “Oh no!” said Wilma. “We can’t play in the den!” | 「ああ！」ウィルマが言いました。「小屋の中で遊べないわ。」 |
| 16 | “Shh!” said Wilf. | 「シー！」ウィルフが言いました。 |

Look Smart 「おめかしして」

—おめかしして行く先は—

せっかく新調したお洋服でお出かけののですが、あらあら。

英語の smart は日本語の「スマート」とはちがう意味で使われます。おしゃれな、こぎれいな、賢い(米)、きびきびした、高機能のなどの意味があります。日本語で同じような発音の言葉があっても、英語とは意味が異なる場合があります。

lorry はイギリス英語でトラックを指しますが、最近ではイギリスでも truck も使われるようになってきました。

表現を使ってみよう

英語の表現が出てきたら、実際に使ってみると自分のものになります。Look Smart には使いやすい表現が満載です。言葉を入れかえながら、生活の中でどんどん使ってみましょう。表現を使うときには、はじめから会話のやりとりを期待するのではなく、相手に言いつばなしでよいのです。徐々に英語でやりとりできるように慣れていきましょう。

- Put it on. 「着てみて」 put on は明かりやテレビをつける時にも使います。
- I want you to look smart. 「あなたにおしゃれしてほしいのよ。」 smart の部分を strong 「強い」など他の単語に入れかえて、「～に見えてほしい」という言い方をします。
- You want me to look smart. 「僕におしゃれしてほしいんだね。」相手が自分に対して～と見えるように望んでいたらこれです。smart を入れかえて使ってみよう。

- A cup fell over. fall over は「転ぶ・倒れる」の意味です。ひっくり返ってしまった時、つまずいた時などに使う表現です。
- go over は越える、調べる、見直すなどの意味があります。Go over your essay. 「エッセイを読み返してみよう。」
- Lipstick on my dress. 「口紅がワンピースについてしまった。」 on は接していることを示します。on にはいろいろな使い方があります。

Look Smart	おめかしして
1 Mum had been shopping.	ママがショッピングに行ってきました。
2 Biff had a new dress.	ビフには新しいワンピースを。
3 Chip had a shirt and Kipper had a new top.	チップにはシャツ、キッパーには新しいポロシャツを買ってきました。
4 Biff looked at the dress.	ビフはワンピースを見てみました。
5 “Put it on,” said Mum. “I want you to look smart.”	「着てみて。」ママが言いました。「あなたにはすてきにしてほしいのよ。」
6 Kipper looked at the top.	キッパーはポロシャツを見ました。
7 “Put it on,” said Mum. “I want you to look smart.”	「着てみて。」ママが言いました。「かっこよくしてほしいのよ。」
8 “Come here, Chip,” said Mum. “Put on this shirt.”	「チップこっちに来て。」ママが言いました。「シャツを着てみて。」
9 “I know,” said Chip. “You want me to look smart.”	「わかったよ。」チップが言いました。「かっこよくしてほしいんでしょ。」
10 Dad came in with a tray. He fell over a bag.	パパがトレイを持ちながら入ってきました。バッグにつまずいてしまいました。
11 A cup fell over.	コップが倒れてしまいました。
12 Some chocolate went over Kipper’s top.	チョコがキッパーのポロシャツについてしまいました。
13 “Oh no!” said Kipper. “Chocolate all over my top.”	「あーあ。」キッパーが言いました。「ポロシャツがチョコレートだらけになっちゃったよ。」

14	Biff sat down. She sat on Mum's lipstick.	ビフがすわりました。ママの口紅の上ですわってしまいました。
15	"Oh no!" said Biff. "Lipstick on my dress."	「あらあ！」ビフが言いました。「ワンピースに口紅がついちやった。」
16	Floppy ran in with muddy paws. He jumped up at Chip.	フロッピーがどろんこ足で走って入ってきました。チップに飛びつきます。
17	"Oh Floppy!" said Chip. "Mud all over my shirt."	「あーフロッピー！」チップが言いました。「シャツがどろんこだよ。」
18	"I can put on my old top," said Kipper.	「脱いだのを着るから。」キッパーが言いました。
19	"No," said Mum. "I want you all to look smart."	「ダメよ。」ママが言いました。「みんなにかっこよく見えてほしいのよ。」
20	"Smart clothes," said Mum. "Put them on."	「すてきな洋服をね。」ママが言いました。「着てね。」
21	The children put them on.	子どもたちは洋服を着ました。
22	They set off for the party. A lorry went by.	みんなはパーティーに出かけました。トラックが通りすぎました。
23	Splash!	バシャーン！
24	"What a good job!" said Dad. "Nobody looks smart."	「ちょうどいいじゃないか！」パパが言いました。「おしゃれしてきた人は誰もいないね。」

Tug of War 「つなひき」

—子どもたちがしかけたいたずらとは—

つなひきを懸命にひっぱるパパ。p.19 ではかなり歯をくいしばっています。でもいくらがんばっても子どもたちにはかなわないようです。

Tug of War に出てくる公園は、ゴミひとつ落ちていません。イギリスにはたくさん公園があります。このように普段からゴミを落とさないように、ひとりひとりが気をつけられるといいですね。イギリスは公園だけでなく、庭もきれいに整備されている印象があります。

英語で書いてみよう

英語で文章を書くときには、日本語と大きくちがう点があります。

- 大文字の使い方。文頭、固有名詞の一文字目などでは大文字を使う。
- 文字として大文字と小文字を使う。
- 単語と単語のスペースをひとつひとつ開ける。
- 疑問文にはクエスチョンマークをつけるなどのパンクチュエーションに注意する。

Tug of War には感嘆符(!)が頻繁に出てきます。CD を聞くとここは強く読むことで強調されています。また、英語を読むことには慣れていても、あまり書くのが得意でないという方の場合には、書きうつすのもよい訓練になります。終止符は full stop (英)または period (米)とも言います。

	Tug of War	つなひき
1	The children went to the park. They went with Mum and Dad.	子どもたちは公園に行きました。 パパとママといっしょです。
2	They went to the stream.	小川の所に行きました。
3	Chip saw a rope. It was by a tree.	チップはロープを見つけました。木のそばにありました。
4	Dad had an idea. "We can skip," he said.	パパはひらめきました。「なわとびをしない。」パパは言いました。
5	He tied the rope to the tree	パパはロープを木に結びました。
6	Dad and the children began to skip. "Go on, jump!" said Mum.	パパと子どもたちは飛びはじめました。「さあ続けてジャンプ！」ママが言いました。
7	"Jump! Jump! Jump!"	「ジャンプ！ジャンプ！ジャンプ！」
8	They all jumped. They jumped too soon.	みんな飛びました。早めに飛びすぎました。
9	Whoops! They all fell over.	おっと。みんな倒れちゃいました。
10	Mum had an idea.	ママがひらめきました。
11	"Let's have a tug of war," she said.	「つなひきをしようよ。」ママが言いました。
12	Dad threw the rope over the stream.	パパが小川の向こうにロープを投げました。
13	Mum went over the bridge.	ママは橋を渡ります。
14	The children began to pull.	子どもたちは引っ張りはじめました。
15	Mum and Dad began to pull.	ママとパパも引きはじめました。
16	"Easy," said Wilf, and he let go.	「簡単さ。」ウィルフが言い、手を離しました。
17	Mum and Dad pulled and pulled.	ママとパパはひっぱって、ひっぱります。
18	"Easy," said Wilma, and she let go.	「簡単よ。」ウィルマが言い、手を離しました。
19	Mum and Dad pulled and pulled.	ママとパパは思い切りひっぱります。

20	“Easy,” said Biff and Chip, and they let go.	「簡単だ。」ビフとチップが言い、手を離しました。
21	“Pull, Dad!” called Wilma.	「パパひっぱって！」ウィルマが叫びました。
22	“Easy,” said Kipper. “Look at me.”	「簡単さ。」キッパーが言いました。「ボクをみてよ。」
23	He pulled Mum and Dad into the stream.	ママとパパは小川に引き寄せられてしまいました。
24	“Easy,” said the man.	「簡単さ。」おじさんが言いました。

An Important Case 大切なかばん

—キッカーは大切にみえるケースを見つけて—

An Important Case には長い単語が出てきます。長い単語はどこにアクセントを置くのか、CD を聞くとときに注意して聞くようにしましょう。日本語はあまり強弱がはっきりしていない言葉なので、英語を話すときには強弱を意識するようにしましょう。

では、この本で一番長い単語は何でしょうか。

“What is the longest word in this story?”

答えは、sandwiches です。

他に長い単語は、important, football, children, outside, officer, couldn't などです。単語のどこが強く読まれているのか、CD をよく聞いてみましょう。

アクセントをマークしよう

- 1) どこが強く読まれているの考えながら、important, football, children, outside, officer, couldn't を発音してみましょう。
- 2) 一番強い部分を発音するときに、手をたたいてみましょう。
- 3) 次に本を開いてCDを聞きながら、1) の単語が出てきたら指で強く発音された所をマークしていきます。

An Important Case

- 1 The children were outside.
They were playing football.
- 2 Wilf kicked the ball. It landed
in a bush.

大切なかばん

- 子どもたちは外にきました。
サッカーをしています。
- ウィルフがボールを蹴ったら、しげみ
に入りました。

3	"Sorry," said Wilf.	「ごめんなさい。」ウィルフが言いました。
4	Wilf couldn't get the ball.	ウィルフはボールを取れませんでした。
5	"I can get it," said Kipper.	「取れるよ。」とキッパーが言いました。
6	Kipper found a case.	キッパーがアタッシュケースを見つけました
7	"Look at this," he said. "I found it in the bush."	「これを見て。」キッパーは言いました。茂みで見つけたんだ。
8	Dad looked at the case.	パパがアタッシュケースを見ました。
9	He couldn't open it.	開けられません。
10	Wilf looked at the case.	ウィルフがアタッシュケースをみました。
11	"What can be in it?" he asked. "It looks important."	「いったい何だろう？」ウィルフは聞きました。「大切そうに見えるね。」
12	"What is in it?" asked Wilma.	「中身はなに？」ウィルマが聞きました。
13	"I don't know," said Chip, "but it looks very important."	「わからない。」チップが聞きました。「でもとても大切そうだね。」
14	"What is in the case?" asked Kipper.	「アタッシュケースには何が入っているの？」キッパーが聞きました。
15	"I don't know," said Biff, "but it looks very, very important."	「わからない。」ビフが言いました。「でもとてもとても大切そう。」
16	"What is in this case?" asked Dad.	「何が入っているんだい？」パパが聞きました。
17	"We don't know," said the police officer, "but it is very important."	「わかりませんね。」警官が言いました。「とても大切そうです。」

18	A man came in a big car. "Who is he?" asked Kipper.	男の人が大きな車で乗りつけました。 「だれだろう？」キッパーが聞きました。
19	"I don't know," said Dad, "but he looks important."	「わからないよ。」パパが答えました。 「でもえらい人みたいだね。」
20	The man took the case.	男の人はアタッシュケースを受け取りました。
21	"It's my case," he said. "Thank you. It was stolen. It is very important."	「私のアタッシュケースです。」男の人は言いました。「ありがとうございます。盗まれてしまったものです。とても大切なアタッシュケースなのです。」
22	The man got in the car.	男の人は車に乗りました。
23	"Excuse me," said Wilma. "What is in the case?"	「すみません。」ウィルマが言いました。「アタッシュケースには何が入っているのですか？」
24	"Ah!" said the man. "My sandwiches."	「ああ！」男の人が言いました。「ボクのサンドイッチですよ。」

Activities

教室でレッスンをする場合のアクティビティーです。

When and Where

5W1H で遊ぶゲームです。

用意するもの: Level 4 More Stories C 6冊・名詞大からはがき大の同じ大きさのカードを 24 枚。

1) Level 4 の 6 冊を使います。6 人ならばひとり一冊を担当して、7 名以上の場合は人数に合わせて担当を決めます。

2) それぞれの本からいつ、どこで、だれが、どうしたのかを抜き出します。5W1H の中からまずは 4 つについて考えます。

3) “2)” をひとつずつ書きます。

例: Dad's Jacket より。いつ(in the afternoon) どこで(outside the house) だれが(a man) どうした(bought Dad's jacket by mistake but gave Wilma ten pounds for Children in Need)

4) 全部をひとつにまとめます。ひとり 4 枚ずつ配ります。

5) プレイヤーは、ババ抜きの要領で違う種類を 4 枚集めていきます。

6) ひとりが揃ったら、その人物が勝ち。揃っていない人も全員集まったカードで何がどうしたのかの文章を作ってみます。

聞き取りゲーム

あらかじめ決めておいた音を、CD をかけて聞き取るゲームです。発音を集中して聞くので、物語を楽しめないという点がありますが、生徒は結構集中してのぞみます。

- 1) 聞き取る音を決めます。たとえば f を聞き取ることにします。f と書いた文字を見せて、何度か発音を練習します。
- 2) CD をかけて、f の音が聞こえるたびに手をあげてもらいます。恥ずかしいがりの生徒がいる場合には、全員が自分の胸の前で小さく手をあげるようにすると他から見えません。手をあげることで、誰が聞き取れているのか、また生徒自身も音の確認ができます。
- 3) もう一度 CD をかけます。今度は手をあげずにその音が何回出てきたかを聞き取ります。
- 4) 最後に何回出てきたかを全体に聞きます。しかし、ここでは数を数えることはさほど重要ではありません。数を数えてもらうことで、一生懸命聞いてもらうのが目的です。

Glossary (本文:アルファベット順)

英単語	意味
baa	メー(羊の鳴き声)
began to ~ (begin to~の過去形)	~し始める
boot	ブーツ
bought (buy の過去形)	買った
branch(es)	枝(一般的に枝というときには branch を使う)
bridge	橋
bush	低木
case	ケース
clothes	服・衣服
come in	入ってくる
couldn't (could not)	できなかった
deep	深い
den	「子どもたちの内緒の遊び場、野生の動物の住む穴」 参考(to beard the lion in his den (文): to go to see an important or powerful person to tell them, that you want sth, etc.)
fall over	倒れる・転ぶ
football	[英]サッカー [米]フットボール
found (find の過去形)	見つけた・探した
gave (give の過去形)	渡す・支払う・あげる
get(ting) wet	ぬれる
go out	外出する・出かける
go over	渡る・越える
got out (get の過去形)	外に出した、脱出させた

have a go	試しにやってみる
important	重要である
in need	危急のとき
invent(ed)	作り出す・発明する
It's time to ~	~する時間
land	つく・着陸する
lead	ひも(犬をつなぐ)
lipstick	口紅
log	丸太
lorry	トラック
mud	泥・ぬかるみ
muddy	泥だらけの
path	道・歩道・通路
paw(s)	つめのある動物の足
plant(s)	植物
police officer	警官
put on	着る
ran after (run after の過去形)	の後ろを追う・追跡する
sank (sink の過去形)	沈んだ
saw(see の過去形)	見た
set off for	出かける・出発する
sheep	羊
skip	軽くとぶ・飛び越す
smart	フォーマルウエアなどきちんと着飾る・ きれいできちんと見える
splash	はねる
splash(ed) into ~	パシヤンと~にはねる・落ちる
stick(s)	棒・小枝・つえ
stolen (steal の過去分詞)	盗まれた
straw	わら

stream	小川・流れ
stuck	動けない・避けられない
threw(throw)	投げた
tie(d)	結ぶ
top	上半身に着るもの(ポロシャツ・ブラス ス・セーターなど)
tug	強く引く
tug of war	つなひき
want(ed) A to~	A に~してほしい
Whoops	ワーという叫び

英単語	意味
baa	メー(羊の鳴き声)
began to ~ (begin to~の過去形)	~し始める
boot	ブーツ
bought (buy の過去形)	買った
branch(es)	枝(一般的に枝というときには branch を使う)
bridge	橋
bush	低木
case	ケース
clothes	服・衣服
come in	入ってくる
couldn't (could not)	できなかった
deep	深い
den	「子どもたちの内緒の遊び場、野生の 動物の住む穴」 参考(to beard the lion in his den (文): to go to see an important or powerful person to tell them, that you want sth, etc.)

fall over	倒れる・転ぶ
football	[英]サッカー [米]フットボール
found (find の過去形)	見つけた・探した
gave (give の過去形)	渡す・支払う・あげる
get(ting) wet	ぬれる
go out	外出する・出かける
go over	渡る・越える
got out (get の過去形)	外に出した、脱出させた
have a go	試しにやってみる
important	重要である
in need	危急のとき
invent(ed)	作り出す・発明する
It's time to~	~する時間
land	つく・着陸する
lead	ひも(犬をつなぐ)
lipstick	口紅
log	丸太
lorry	トラック
mud	泥・ぬかるみ
muddy	泥だらけの
path	道・歩道・通路
paw(s)	つめのある動物の足
plant(s)	植物
police officer	警官
put on	着る
ran after (run after の過去形)	の後を追う・追跡する
sank (sink の過去形)	沈んだ
saw(see の過去形)	見た
set off for	出かける・出発する
sheep	羊

skip	軽くとぶ・飛び越す
smart	フォーマルウェアなどきちんと着飾る・きれいできちんと見える
splash	はねる
splash(ed) into ~	パシヤンと～にはねる・落ちる
stick(s)	棒・小枝・つえ
stolen (steal の過去分詞)	盗まれた
straw	わら
stream	小川・流れ
stuck	動けない・避けられない
threw(throw)	投げた
tie(d)	結ぶ
top	上半身に着るもの(ポロシャツ・ブラスス・セーターなど)
tug	強く引く
tug of war	つなひき
want(ed) A to~	Aに～してほしい
Whoops	ワーという叫び

Level 4 More Stories C のイラストに出てくることば

イラストを見ながらお子さんとお話する時に、絵の中の単語をリストアップしました。

Dad's Jacket			
をつるす	hang out	植木鉢	flowerpot
小銭入れ	purse	洗濯ばさみ	clothespin
Stuck in the Mud			
切り株	stump	煙突	chimney
柵	fence		
The Den			
bough	大枝	twig	小枝
枝から出ている 葉・若枝	sprig	どしゃ降り・大 雨	downpour
白鳥	swan		
Look Smart			
紙袋	paper bag	花びん	vase
ぞうきん	dustcloth		
Tug of War			
庭師	gardener	ベビーカー	(英)pushchair (米)stroller
An Important Case			
札束	wad	携帯電話	mobile phone (米)cell phone
金塊	gold nugget	極秘事項	top secret